(+ * - 1)	亚世 1 0 /		Z⁄2 == +¥ ±	∞ /≖ ≠						
〔様式1〕	平成 1 9 1		務事業							
記入年月日	平成19年3月2			連 絡						
平成18年度部名	保健福祉部		名 障害福祉	***						
平成19年度部名	福祉部	****	名 障害福祉		名 原修					
	事務事業名 手話通訳者設置・派遣事業									
予算上の事務事業名			通訳者設置・派遣							
1 総合計画におけ		1.0	施策コード		310					
基本目標			祉文化都市」をめ							
			社会をつくります	•						
基本施策名		自立支援と社会								
	第1施策 自立し		るための境境つく	IJ						
2 実施根拠及び関 障害者自立支援法、			a (古)毛託通訊	 	宇旃亜綱					
	、(国力地场工作)	义及争未大心女神	ᄬᆞ(ゖᄼᆍᇚᇛᄽ	(日以且派是尹未	大心女神					
3 個別計画の概要	5	杆	 既要							
		ß	章害者を主体とした							
計画名 相模原市	計画名 相模原市障害者福祉計画									
計画年次 10	年度~ 2	H 22 年 度	l15~18、後期H19~	<i>22</i>)						
4 事業形態の区分		▼ 5	5 事業開始年度	昭和63	年以前 ▼					
6 事業概要										
(1)事業の目的	(何のために行う	のか、またはも	たらしたい成果)	(2)対象(誰、何)					
聴覚障害者の相談・	`				節害者、障害者					
置、派遣する。				団体	なび市					
(3)平成18年月	隻事業の内容(活	動)・・・いつ、	どのような方法で	で実施した内容(活動)なのか。					
相模原福祉事務所及										
る。	c o c /# / l >									
平成18年度派遣実績 窓口設置	7 4 件									
行政関係 94件										
団体の会合等 144件										
	38件		病院関係 206件 学校関係 138件							
その他	3 0 件									
7 関連事業・類似事業叉は他市の状況										
7 関連事業・類化		 								
障害者自立支援法地	以事業叉は他市の2 域生活支援事業コ	ミュニケーション事	事業として市町村の	実施事業として位	Z置付けられている					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施さ	以事業叉は他市の2域生活支援事業コミ れている。手話通言	ミュニケーション事 訳者設置・派遣事業	事業として市町村の 業は、平成19年度	実施事業として位 予算から要約筆記	Z置付けられている B通訳者派遣事業と					
障害者自立支援法地	以事業叉は他市の2域生活支援事業コミ れている。手話通言	ミュニケーション事 訳者設置・派遣事業	事業として市町村の 業は、平成19年度	実施事業として位 予算から要約筆記	Z置付けられている B通訳者派遣事業と					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施さ 統合され、手話・要	以事業叉は他市の2域生活支援事業コミ れている。手話通言	ミュニケーション事 訳者設置・派遣事業	事業として市町村の 業は、平成19年度	実施事業として位 予算から要約筆記	通訳者派遣事業と					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施さ 統合され、手話・要	以事業叉は他市の2域生活支援事業コミルでいる。手話通話 約筆記者設置・派道	ミュニケーション事 訳者設置・派遣事業	事業として市町村の 業は、平成19年度 平成18年度	実施事業として位 予算から要約筆記 ア成19年度	図置付けられている 図通訳者派遣事業と 「単位:千円〕 「平成20年度					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施さ 統合され、手話・要 8 事業費の推移	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通 約筆記者設置・派遣 ア成16年度	ミュニケーション引 沢者設置・派遣事業 遣事業となった。	業は、平成19年度	予算から要約筆記	・通訳者派遣事業と「単位:千円〕					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施さ 統合され、手話・要 8 事業費の推移 年 度	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通言 約筆記者設置・派道 型 平成16年度 3,119	ミュニケーション引 訳者設置・派遣事業 遣事業となった。 単 平成 1 7 年度	業は、平成19年度 □ 平成18年度	予算から要約筆記 平成19年度	通訳者派遣事業と〔単位:千円〕□ 平成20年度					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施さ 統合され、手話・要 8 事業費の推移 年 度 事 業 費	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通言 約筆記者設置・派道 が で成16年度 3,119 1,720	ミュニケーション引 沢者設置・派遣事業 遣事業となった。 平成 1 7 年度 3,010	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370	予算から要約筆記 平成 1 9 年度 3,967	通訳者派遣事業と〔単位:千円〕平成20年度3,967					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施さ 統合され、手話・要 8 事業費の推移 年 度 事 業 費 一般財源	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通言 約筆記者設置・派道 数章記者設置・派道 1,720 1,720 0	ミュニケーション引 訳者設置・派遣事業 遣事業となった。 平成17年度 3,010 1,573	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370 1,752	予算から要約筆記 平成 1 9 年度 3,967 2,134	選通訳者派遣事業と単位:千円〕平成20年度3,9672,134					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施さ 統合され、手話・要 8 事業費の推移 年 度 事 業 費 一般財源 受益者負担金	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通言 約筆記者設置・派道 を 平成 1 6 年度 3,119 1,720 0 1,399	ミュニケーション引 訳者設置・派遣事業 遣事業となった。 平成 1 7 年度 3,010 1,573 0	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370 1,752 0	予算から要約筆記 平成 1 9 年度 3,967 2,134 0	・単位:千円〕平成20年度3,9672,1340					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施さ 統合され、手話・要 8 事業費の推移 年 度 事 業 費 一般 財 源 受益者負担金 その他の特定財源	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通言 約筆記者設置・派道 数章記者設置・派道 1,720 2 0 1,399 1 0	ミュニケーション引 沢者設置・派遣事業 畫事業となった。 平成 1 7 年度 3,010 1,573 0 1,437	業は、平成19年度平成18年度3,3701,75201,618	平成19年度 3,967 2,134 0 1,833	選通訳者派遣事業と単位:千円〕平成20年度3,9672,13401,833					
障害者自立支援法地 ため、全国で実施・要 8 事業費の推移 年 関 財 原 一般 財 源 受益者負担金 その他の特定財源 人件費の合計	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通語 約筆記者設置・派道 2 平成 1 6 年度 3,119 1,720 0 0 1,399 0 0 3,119	ミュニケーション引 R者設置・派遣事業 遣事業となった。 平成 1 7 年度 3,010 1,573 0 1,437 0 3,010	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370 1,752 0 1,618 0	平成19年度 3,967 2,134 0 1,833 0	 は単位:千円〕 平成20年度 3,967 2,134 0 1,833 0 					
障害者自立支援法地 ため、名 本 で ま を で ま を で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通語 約筆記者設置・派道 2 平成 1 6 年度 3,119 1,720 2 0 1,399 1 0 1,399 1 3,119 活動単位当たりの	ミュニケーション引 R者設置・派遣事業 遣事業となった。 平成17年度 3,010 1,573 0 1,437 0 3,010 の事業効率	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370 1,752 0 1,618 0	平成 1 9 年度 3,967 2,134 0 1,833 0 3,967	は通訳者派遣事業と単位:千円〕平成20年度3,9672,13401,83303,967					
障害者自立支援法地 ため、全なれ、手 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通語 約筆記者設置・派道 2 平成 1 6 年度 3,119 1,720 0 0 1,399 0 0 3,119	ミュニケーション引 R者設置・派遣事業 遣事業となった。 平成17年度 3,010 1,573 0 1,437 0 3,010 の事業効率	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370 1,752 0 1,618 0	平成 1 9 年度 3,967 2,134 0 1,833 0 3,967	 は単位:千円〕 平成20年度 3,967 2,134 0 1,833 0 					
障害者自立支援法地 ため、名 本 会 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通語 約筆記者設置・派道 2 平成 1 6 年度 3,119 1,720 2 0 1,399 1 0 1,399 1 3,119 活動単位当たりの	ミュニケーション引 R者設置・派遣事業 遣事業となった。 平成17年度 3,010 1,573 0 1,437 0 3,010 の事業効率	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370 1,752 0 1,618 0	平成 1 9 年度 3,967 2,134 0 1,833 0 3,967	は通訳者派遣事業と単位:千円〕平成20年度3,9672,13401,83303,967					
障害者自立支援法地 ため、名 本 会 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通言 約筆記者設置・派道 2 平成 1 6 年度 3,119 1,720 2 0 1,399 1 0 1,399 1 3,119 活動単位当たりの 手話通訳者設置 平成 1 6 年度	ミュニケーション R 表 設置・派遣事業 遣事業となった。 平成 1 7 年度 3,010 1,573 0 1,437 0 3,010 の事業効率 ・派遣事業	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370 1,752 0 1,618 0 3,370	平成 1 9 年度 3,967 2,134 0 1,833 0 3,967 対象名称 と単位 設置・	 は単位:千円〕 平成20年度 3,967 2,134 0 1,833 0 3,967 ・派遣件数					
では では では では では では では では では では	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通語 約筆記者設置・派道 2 平成 1 6 年度 3,119 1,720 2 0 1,399 1 0 1,399 1 0 1,399 1 1,399 1 1,399	ミュニケーション 訳者設置・派遣事業 遣事業となった。 平成17年度 3,010 1,573 0 1,437 0 3,010 の事業効率 ・派遣事業 平成17年度	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370 1,752 0 1,618 0 3,370	平成 1 9 年度 3,967 2,134 0 1,833 0 3,967 対象名称 と単位 平成 1 9 年度	国語訳者派遣事業と 【単位:千円】 平成20年度 3,967 2,134 0 1,833 0 3,967 派遣件数 平成20年度					
では では では では では では では では では では	以事業叉は他市の 域生活支援事業コミ れている。手話通語 約筆記者設置・派道 を 平成 1 6 年度 3,119 1,720 0 1,399 1 0 1,399 1 0 5 1,399 1 0 5 1,399 1 0 5 3,119 5 手話通訳者設置 5 平成 1 6 年度 3,119 625	ミュニケーション 訳者設置・派遣事業 書事業となった。 平成17年度 3,010 1,573 0 1,437 0 3,010 の事業効率 ・派遣事業 平成17年度 3,010	業は、平成 1 9 年度 平成 1 8 年度 3,370 1,752 0 1,618 0 3,370 平成 1 8 年度 3,370	平成 1 9 年度 3,967 2,134 0 1,833 0 3,967 対象名称 と単位 平成 1 9 年度 3,967	国語訳者派遣事業と 「単位:千円〕 平成20年度 3,967 2,134 0 1,833 0 3,967 派遣件数 平成20年度 3,967					

10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの								
指標名派遣件数 指標式と 派遣人数								
と単位 派遣件数 指標の説明 派遣人数								
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
実績	625.0	623.0	686.0					
目 標	789.0	789.0	828.0	856.0	856.0			
目標達成度(%)	79.2	79.0	82.9					
, ,	・・もたらしたいタ		値化したもの					
	みに対する派遣率	世価ポレ		_ 144				
と単位 (%)		指標の説明	成遣人数÷派遣見込	み数				
	平成16年度		平成18年度	平成19年度	平成20年度			
	79.2	79.0	82.9	177% 1 3 1 1%	173,2 0 112			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
目標達成度(%)		79.0	82.9	100:0	100:0			
12個別評価	13.2	73.0	02.5					
(1) 妥当性の評価	ਜ	あス・R・妥当性	に課題がある・	(・妥当でかい)				
			とが義務付けら					
-)責務を具体化し		· ある			
l A			はが高い事業であ		. 07 00			
^ }			- ズや行政需要が					
-			ふさわしい事業で		2. 田できる			
(2) 有効性の評価			を高める余地がる					
			こめに大きく貢献					
			さく貢献してい					
A			ら見て、期待され		たらしている。			
			付象は事業を実施し					
(3) 効率性の評価			を高める余地がる					
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		の経費は適正であ						
I	☑・再任用や非常	常勤職員などを活	用しても、これり	以上のコスト節減	の余地がない。			
A	□ ・受益者負担・	や補助等の割合に	問題はない。					
	✓ ・事業の実施	方法や実施体制は	は適正である。					
(4) 民間活力また	とは市民協働の導ん							
			1て、民間で実施					
無		・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。 ・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。						
755					果が見込めない。			
1 0 W A += /= (✓・市で実施す	る万が民間委託等	をするより適し	ている。				
13 総合評価(-								
(1) 自動判定結果		もフ ナン小上 台ビ ナール 仕 +土 −	ナフ宙光					
-	〔〕:良好な状態を維持する事業〔〕:概ね良好な状況である事業〔〕:見直しを行う必要がある事業							
-								
-			プめる事業 木止、廃止を検討	すべき重業				
(2) 事業所管課長	<u> </u>		3)事業所管課長		章 护田			
<u> </u>	□・拡充・充実		<u>ラ) 事業が 自体で</u> 恵覚障害者のコミュ					
	□ ・・現状維持		手話通訳者の設置					
現状維持								
	□ ・見直し							
	・廃止							
14 成果向上及で	ゾ効率性を高める が		15 課題として認					
なし			公費(本人負担無し)で派遣できる範囲は限定されてい る。聴覚院実表の社会会担が進れ、文化活動、方人等の					
			る。聴覚障害者の社会参加が進み、文化活動、友人等の 結婚式、職場でのトラブル、大学等での授業などに対応					
			おる必要がある。					
16 二次評価								
(1) 局内評価会認			2) 二次評価コン		- + <u>A</u> 1 - 7			
	・拡充・充実		成果を検証し、効果	R的な事業の実施を	r 検討する。			
現状維持	☑・現状維持							
-ンいつへが圧3.73	□・見直し							
	・廃止							